

理研興業株式会社

防雪・防風対策製品開発のパイオニア



【融雪機能を有する防雪システム】

事業内容

雪況調査・気象観測・風洞実験で最適な防雪対策を提案します

北国の道路交通網はその土地で暮らす人々の、日々の生活における最も大切なライフラインです。その道路を過酷な雪と風の害から守っているのが、弊社の防雪・防風柵です。現地の状況や気象条件で絶えず変化する吹雪のメカニズムは非常に複雑です。厳密な調査と研究開発、実験の中から得られた貴重なデータを活かして開発された柵は、北国の生活を守るテクノロジーの結晶です。2019年には、令和元年度北海道新技術・新製品開発賞のものづくり部門で、当社の「ワイヤーロープ視線誘導標（光るワイヤーロープ）」が大賞に選ばれるなど、豊かな発想と創造力で、さらなる技術向上にたゆまぬ努力を続けています。

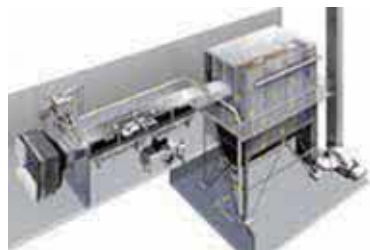
主要取引先（納品先・販売先）

国土交通省（北海道開発局・東北地方整備局・北陸地方整備局）北海道各建設管理部、各県、各市町村、東日本高速道路(株)

認証・受賞・資格等

ワイヤーロープ用視線誘導標（光るワイヤーロープ）において、
 ・令和元年度北海道新技術・新製品開発賞 ものづくり大賞受賞
 ・令和2年度北海道地方発明表彰 中小企業庁長官賞受賞

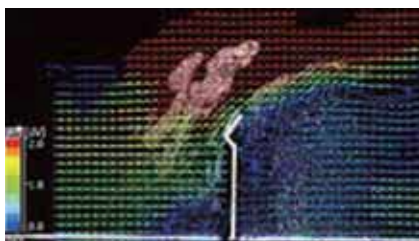
独自の技術



【風洞実験装置】

弊社では風洞装置による模型雪を用いた可視化実験、堆積実験、風速分布測定を行い、吹雪や積雪状況を再現することでそのメカニズムを解析し、防雪柵の開発・防雪対策の検討を行っています。

当社の強み



【PIV解析システム】

現在は、粒子画像流速測定法（PIV）を導入し、数値化した流れ場の可視化にて、さらに高度な解析および評価を行い、より高性能な防雪柵の実現をめざして日々研究開発を行っています。

今後の展望



【ワイヤーロープ用視線誘導標】

ワイヤーロープ用視線誘導標を代表とする導光樹脂線を活用した視線誘導標の開発をはじめとして、冬季だけでなく、通年の道路交通安全対策を日々研究しています。

	設備名	メーカー名	能力・型式・ワークサイズ等	台数
主要設備	風洞実験装置	—	測定洞寸法：H700xW1000xL5700(mm)	1
	PIV解析システム	カトウ光研	PIV Laser G2000、高速度カメラK5、流体解析ソフト FlowExpert 2D2C	1
	定点気象観測機器	—	風向風速温度計、積雪深計	27
	3D CAD	ダッソー・システムズ	Solid Works	2
	2D CAD	アンドール	CADSUPER	10

Company info

理研興業株式会社

代表者／代表取締役社長 柴尾 耕三
 設立年／1955年 11月
 資本金／1,200万円
 売上高／15億円（2019年3月期）
 従業員数／24名（うち正社員 24名）

TEL 0134-62-0033

FAX 0134-62-0088

所在地／〒047-0261
 小樽市銭函3丁目263番地7
 URL／<https://www.riken-kogyo.co.jp/>
 連絡担当者／環境・新エネルギー開発部係長 内海 博行
 E-Mail／uchiumi@riken-kogyo.co.jp

